

菜園で 秋まき野菜を



野菜づくりは準備

家庭菜園で野菜を作る場合には土づくりが大切です。野菜を作る前に、堆肥や腐葉土などの有機物を入れると土中にすき間ができます。このすき間に水や空気が保たれ、植物の根がよく伸び、丈夫に育つことができます。

堆肥投入量の目安は1㎡当たり4〜5kg。野菜づくりは、まず土づくりから始めましょう。

野菜をしくつてみよう

秋まき野菜はたくさんありますが、今回はホウレン草と秋ダ

イコンのつくり方を紹介します。

★ホウレン草

①畑の準備

タネをまく2週間以上前に1㎡当たり苦土石灰を150g全面に散布し、よく耕しておきます。

1週間前になったら元肥として1㎡当たり堆肥2kg、化成肥料200gを施し、整地します。

②うね作り

菜園はうね幅45cmにし、床土を平らにならします。

③タネのまき方

夏から秋口までのタネまきは、高温のため発芽が悪いので芽出しをしてからまきます。覆土は1cmくらいがよいでしょう。

④間引き

タネを水に半日つけてから日陰の涼しいところに広げ、湿らせた布きれをかぶせます。布は乾く前に水をかけて湿らせ、1割ぐらい出芽し始めたたらタネをまきます。

⑤収穫

秋ダイコンはタネまき後、60〜70日で収穫します。



⑤収穫

大きくなったものから順次間引きしながら収穫していきます。

★秋ダイコン

①畑の準備

タネまきの2週間以上前に1㎡当たり苦土石灰100gを全面に散布して深く耕し、小石など根の生育を妨げるものは取り除きます。

1週間前になったら元肥として化成肥料150g(1㎡当たり)を施し、よく耕しておきます。

②うね作り

うね幅は60〜70cm、株間は25〜30cmにとります。

③タネのまき方

タネは1ヶ所に五〜八粒ずつ点まきし、1cmぐらい覆土して軽くおさえておきます。

④間引き

1回目は本葉2〜3枚のとき。1ヶ所2本立ちにします。2回目は本葉6〜7枚のときに行い、1本立ちにします。

⑤追肥と土寄せ

追肥は間引き後に硫酸30gを施します。追肥後は軽く中耕して、根元がかくれるように株元へ土寄せをしておきます。

⑥収穫

秋ダイコンはタネまき後、60〜70日で収穫します。

野菜科 武田 雄介

※お問い合わせは、普及センター 松尾駐在

(☎ 86-4121-2)へ。

文芸

俳句

花火果つなほまなうらに華残る 藤代 ゆう

牛啼けば牛が答へて夕立ちぬ 鈴木 草庵

稲作に良しと猛暑に耐えてをり 土屋 栗水

土用波立つや浜辺の人まばら 若梅あやめ

故里や青梅畑すづなりに 小林 順子

花真産の風ふくらみに子等乗りし 今関 茂生

火吹男のお面あみだに山車を曳く 斉藤 正吾

鉢巻きのま、眠る児や夏祭り 岡田 江涯

筒花火抱く男の子の心意気 渡部 和秋

短夜や母娘で語る床の中 福田 幸子

花真産の色さへ香る青さかな 玉虫たけし

長病みの母の花真産買ひにけり 戸村 静華

佐渡の宿窓の波音明易し 福田 晴一

梅漬けてく逝き母の盆 選者 山口 一秋

短歌

シャリシャリと音立つる氷の間よ

り活きよき鯉を尾より引きあぐ 秋葉 悦子

家絶へて整地されたる屋敷跡古井戸一つぼつりと残る 宇井 ちい

南天の花がらを掃く土の上に白き綿なす模様の残る 八角 三枝

「ただいま」の声に孫らは歓声をあげつつ吾の靴を手にす 佐瀬 初音

この川に増水激しく流れきて堤を少し崩しゆくなり 永藤 滋

スーパードで見知らぬ方に会釈され思ひ出せざるままに別れつ 石井 ユク

似た者を見つけし如く喜びて吾が背の丸きを主治医はのらす 吉岡 信子

肌黒き外国人らしきひと一人病院の廊下にうづくまりるつ 齊藤 要

紫陽花は梅雨の花なり妻とふたり明月院に見し日も遠し 土屋 栗水

鉢植ゑのくじやく草の丈伸びすぎて夏の強陽にすぐに萎る 向後 房

冠水の馬鈴薯を掘るもどかしき人命救助の如き思ひに 齊藤 秀男

橡並木歩く友らのブラウスは淡き緑を帯びてゆきけり 選者 斎藤つね子